

物流・冷熱・ドライブシステム ドメイン特集の発刊に際して

常務執行役員 ドメイン CEO 御子神 隆
物流・冷熱・ドライブシステム Takashi Mikogami
ドメイン長



物流・冷熱・ドライブシステムドメイン特集の発刊に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

物流・冷熱・ドライブシステムドメイン(以下、LT&D ドメイン)は、当社の量産製品である物流システム、冷熱機器、エンジン・エナジー、ターボチャージャの4つの事業を統括し、「製品販売シナジー追及による市場開拓と、製品群を組合せた付加価値創出」により量産品事業の競争力強化を進めるべく、2020年4月1日付けで発足しました。

我々の製品は、電化・自動化・IoTの進展による技術革新、脱炭素社会に向けたエナジートランジション、またコロナ禍による新しい生活様式により、大きな環境変化の時期を迎えています。

今回の特集号では、これらの時代の変化に伴う新製品の紹介、課題を解決する先端技術を紹介します。

まず、物流事業では、欧州市場向け新型パワーパレットトラック“PREMiA® EM”、フォークリフトと無人搬送車が混在する環境でのパレット荷役の実現、欧州5次排出ガス規制適合フォークリフト、フォークリフト人検知システムをご紹介します。環境・自動化・安全をキーワードとした製品開発をお伝えします。

次に、冷熱事業では、省エネ性と快適性を両立させた調湿外気処理直膨式エアハンドリングシステム(ダイレクトX Comfort)、未利用エネルギーを用いた低GWPターボヒートポンプの帯水層蓄熱システム、冷媒の地球温暖化係数を低減したサブエンジン式輸送冷凍機TUシリーズ、ハイブリッド・電気自動車空調システム用電動コンプレッサ低振動化を紹介し、環境・省エネに考慮した製品開発をご理解頂きます。

エンジン・エナジー事業では、欧州5次排出ガス規制適合フォークリフト向けディーゼルエンジン、既設ガスエンジンの高効率化改造、エンジン・エナジー事業における遠隔監視・遠隔制御、低炭素・脱炭素エンジン製品を紹介し、脱炭素社会実現に向けた製品・技術を示します。

最後にターボチャージャ事業では、次世代ハイブリッド車用ターボチャージャの適用技術、デジタルモックアップを活用したガソリンエンジン向けVGターボの挙動評価、インペリアル・カレッジ・ロンドンとのターボチャージャ共同研究組織、中国市場における三菱ターボ拠点を紹介し、海外生産拠点や海外大学と連携したグローバルな技術開発、生産体制をご紹介します。

三菱重工の量産品事業は、新体制のもとで、脱炭素・電化・自動化といったメガトレンドに加え、コロナ禍における快適性といった社会からのニーズにお応えすべく、三菱ロジスネクスト株式会社、三菱重工サーマルシステムズ株式会社、三菱重工エンジン&ターボチャージャ株式会社とともに技術開発・製品開発に取り組んで参りますので、今後ともご支援をよろしくお願ひ申し上げます。